

高知県言語聴覚士会理事会議事録

日時 2014年12月3日(水) 19:00~20:30

場所 高知県立療育福祉センター

出席: 西田 石川 横島 高野、吉村、小松、山本(光) 山本(理)、若林、矢野(書記)、川上

欠席: 大崎

【検討事項】

1. 協会会員と県士会会員を合わせることにについて
 - ・来年度総会で、協会会員と県士会会員を合わせることを伝え(会則変更)、その次の年度からは実行する。県士会非会員のSTが把握しにくいいため、代表者会出欠の返信で施設内のST人数を聞く。
2. 研修会参加者数減少について
 - ・365日稼働の施設が増え、日曜日でも参加しにくい状況はある。研修会参加回数が多い人は表彰する等、特典を検討することも必要か。継続課題。
3. 高知県言語聴覚士会総会について
 - ・教育講演依頼に清水充子先生から承諾を頂いた。テーマ「若いSTに期待すること(仮題)」5/9、5/10、5/17以外ならOKとのことで、5/24日(日)で打診する。
 - ・選挙管理委員会の桑原さん退職予定。竹内さんを委員長代行とし、総会で決定していたメンバーから桑原さんを除く2名で動いてもらう。

【報告・確認事項】

1. 研修部より; 第1回研修会を平成26年11月30日(日)高知学園短期大学にて開催した。講師は坂本まゆみ氏(高知学園短期大学医療衛生学科歯科衛生専攻)。テーマ「口腔ケア~歯科衛生士からみる口腔ケアの実際と評価・ケア~」。参加者29名(うち会員13名)。公印の受け渡しが非効率だった。→公印が必要な受講証明書、領収書は今後事務局が作成する。第2回研修会は平成27年2月か3月を予定。講師は未定。
2. 高知県言語聴覚学会; プログラムは会員に送付する。17演題。4群(「高次脳・音声」「嚥下I」「嚥下II」「小児・業務・他」)に分ける。座長・コメンテーターは担当者から依頼する。9:00~11:00専門講座、16:15~17:15教育講演テーマ未定、講師:和田寿美氏(近森リハビリテーション病院臨床心理士)講師費は30,000円。会場設営は前日。必要なら周辺施設に依頼する。受付で使用する名簿は事務局で作成する。会員外ならその場で会員になってもらう。県士会のPCとプロジェクターを使用する(1月理事会の際に事務局から高野理事に渡す)。
3. 地域福祉部より; 巡回相談事業は3件(幼保)。失語症会話パートナー養成講座基礎編を平成26年11月16日(日)西部健康福祉センターにて開催した。参加者19名(当日キャンセル2名)。会計報告は別紙参照。実践編は平成27年3月1日(日)に開催予定。場所未定。申し込みは12名、キャンセル待ち2名。内容は現在部員で作成中。
4. 教育部より; 生涯学習プログラム基礎講座を平成26年11月30日(日)に開催した。参加者数は基礎講座4「言語聴覚療法の動向」(講師:川上理事)10名、基礎講座5「協会の役割と機構」(講師:石川副会長)7名、基礎講座6「研究法序論」(講師:吉村理事)7名。会計報告別紙。専門講座は平成27年1月25日(日)開催予定。「回復期リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割」講師:中澤久夫氏(社会福祉法人白寿院新田塚デイサービスセンター)。24日に高知市で接待、25日午後JR須崎駅からJR乗車される。協会のポイント対象専門講座に申請済。
5. 会報編集部より; 山本理事が産休につき、担当業務をいずみの病院スタッフに移行する。発送の際、同封する案内の紙面は印刷費削減のため会員分は廃止する。
6. 福利厚生部より; 新年会は予算の関係で施設ごとに案内を出す。自宅会員には別途送付する。
7. 高知新聞記事掲載; 高知新聞元旦の記事でPTOTSTを紹介(KCBアド)。写真はくろしお病院から提供。
8. 代表者会の報告等; PT士会より地域ケア会議への参加に向けた研修会への参加の誘いあり、案内を会員宛に送付する。代議員の選挙は無投票当選(71名)となった。協会の基礎講座講師養成講座はあと3回で終了。県士会の受講人数増も検討する。
9. 学会の来賓について; 市長、県職員など来賓できていただくか検討していく。
10. 研修会; 平成27年2月7日宇野彰先生講演「障がい児学習障害の基礎」ST会員に案内を送付する。
11. 事務局より; 今後、協会からのメール連絡は理事全員に転送する。協会からのアンケート協力施設数を増やす。5施設に加え、愛宕、内田、もみのき、南中、田野にも追加で依頼する。OT学会から依頼の名義後援は承諾する。

次回 平成27年1月7日(水) 19:00~、県立療育福祉センターにて。